

令和3年度(第20回)総会
議事録

■開催日時 令和4年9月25日(日)
午後1時30分～午後3時10分
開催場所 Zoom会議

■出席者氏名 計10名
(敬称略、理事以下五十音順)

設楽 知弘	(理事長)	
相川 正義	(事務局長)	(司会)
荒木 元世	(理事)	(議事録作成者)
小泉 新一	(監事)	(議事録署名人)
谷 敦	(副理事長)	
徳永 達巳	(副理事長)	(議長)
保坂 公人	(顧問)	
松崎 志津子	(監事)	
松村 文雄	(会員)	(議事録署名人)
渡辺 淳一	(理事)	

■総会の次第

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 出席者及び定足数の確認
4. 議事並びに資料の確認
5. 議事録作成者および議事録署名人の指名
6. 議長選出
7. 議題 決議事項
第一号議案 令和3年度事業報告書の承認
第二号議案 令和3年度収入支出状況報告と財産目録の承認及び会計監査に関する件
第三号議案 令和4年度事業計画および予算に関する件
8. 報告事項、その他
9. 閉会

■議事経過の概要及び議決結果

1. 開会宣言
定刻に至り設楽(理事長)により総会が開会され、総会の司会は相川(事務局長)が担当した。
2. 理事長挨拶
設楽(理事長)が令和3年度(第20回)総会の開催に際しての挨拶を行った。
3. 出席者および定足数の確認
総会は会員本人出席10名と本人の委任状による代理出席18名の合計28名で、会員数30名の過半数である16名に達しており有効である旨を確認した。
4. 議事並びに資料の確認
設楽(理事長)により、総会の議事および資料の説明があり、画面共有にて確認を行った。
5. 議事録作成者及び署名人の指名
議案審議に先立つ議事経過をまとめるにあたり、設楽(理事長)から、議事録作成者に荒木(理事)が指名され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。また、議事録署名人には小泉(会計監査)、松村(会員)が推薦され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。
6. 議長選出

小 泉

設楽（理事長）より議長に徳永（副理事長）が推薦され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。

7. 議案の審議及び結果

ア. 第一号議案 令和3年度事業報告書の承認

徳永（議長）は第一号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）は第一号議案に関して、共有資料の「令和3年度 事業報告書」を用いて、令和3年度の事業 ①協力隊まつりでのシンポジウムの開催、に関する内容と成果の報告、及び収支の説明を行った。

徳永（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、松村（会員）から支出に関する質問があったが、その件については第二号議案内で説明する旨、設楽（理事長）から回答し、異議なく承認可決された。

イ. 第二号議案 令和3年度収入支出状況報告と財産目録の承認及び会計監査に関する件

徳永（議長）は第二号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

小泉（監事）は、会計は7月31日付で締め、8月22日に会計監査を実施した旨報告し、正確かつ適正であるとの監査結果が報告された。また、第二号議案に関して、共有資料の「令和3年度 財産目録」「令和3年度 貸借対照表」を用いて、それらの状況を、①資産の部 ②負債の部ごとに報告を行った。さらに、「令和3年度 活動計算書」「令和3年度計算書類の注記」を用いて令和3年度の収入と支出の状況を、①経常収益 ②経常費用ごとに報告を行った。

経常費用に関して、1.事業費「出展料イベント費用」は、協力隊祭り参加費、2.管理費「消耗品」は封筒代、「通信・振り込み手数料」には、Zoom使用料やHP維持代が含まれる。また、交際費は鈴木元事務局長への香典代である旨、松崎（監事）より、追加説明があった。

松村（会員）より、「令和3年度計算書類の注記」における「経常収益」「5. その他収益」の「情報収集・提供事業」は、0円ではないか、との指摘があり、設楽（理事長）から誤記である旨回答があり、修正することとなった。

また、松村（会員）より、会計関係の書類をわかりやすくするための改善提案があった。設楽（理事長）及び松崎（監事）から、NPO法人の会計基準に基づいた書式であるが、表示方法の改善は可能、また補記がある資料も作成しているため、説明用にはその活用も可能であるとの回答があった。

また、鈴木元事務局長の香典に関して、「令和3年度 計算書類の注記」における「7. 役員及びその近親者との取引の内容」に入るのではないかと、という質問が松村（会員）からあり、松崎（監事）から、保坂（顧問）に確認することとなった。

徳永（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

ウ. 第三号議案 令和4年度事業計画および予算に関する件

徳永（議長）は第三号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）は第三号議案に関して、共有資料を用いて、令和4年度の事業計画の方針について、活動計画を提示した。主な活動内容及び収支として、収益は、会費、グローバルフェスタ、協力隊まつりへの参加、寄付を見込んでおり、これに繰越金加わる。支出は、シンポジウムの発表謝金や後方支援活動費等を想定している。コロナにより、イベントや後方支援事業が実施できていないが、来年度は少し活動が実施できることを想定している。活動が活発になった場合は、柔軟に予算の増額等の対応を行う。後方支援の交通費については、一昨年の総会で決議された、会費収入の50%まで、を目安に計上している。

徳永（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

8. 報告事項、その他

渡辺（理事）から、来年度の活動内容について議論の提案があった。小泉（監事）からは他のOB会等の定例会実施状況も共有され、対面式とウェブのハイブリッドで少しずつ始められるのではないかと提案があった。また、出席者間での協議の結果、日にちを固定し、理事長が不参加であっても、定例会を定期的に実施していく事が重要であるという意見がまとまった。これにより、10月に定例会を開催し、頻度や方法については定例会の場で議論する事となった。

谷（副理事長）からは、後方支援の実施に関する相談があった。現在後方支援はコロナの影響で実施されていないが、EVAAの重要な活動でもあり、今後の方針についての議論が必要である。これについても、定例会の場で議論を進めることとなった。

予定していた議案と報告は以上であった。総会の議決事項をすべて終了したため議長は解任され降壇した。

小 松

9. 閉会

設楽（理事長）により閉会が宣言され、総会は午後 3 時 10 分に終了した。

上記のとおり平成 30 度（第 17 回）総会の議事に相違ないことを証するため、ここに議事録署名人が記名・捺印する。

06, Oct, 2022

議事録署名人

小泉新一

08, Oct, 2022

議事録署名人

松村文雄